

第1回会議での主な指摘・意見事項

- フェリーは災害時に強く、緊急輸送に大きな役割を担った。今回の震災の教訓として岸壁の耐震化が必要である。
  
- 防災と減災の二段階の整備があると思うが、実際に整備するのはどのレベルを意識するか、整備のレベルに関して綿密に決めておく必要がある。
  
- 四国全体のBCP策定はどのように展開していく予定か。また、非常時における港湾の優先順位づけは行うのか。
  
- 津波シミュレーションを優先的に行う港湾の選定方針はどのような考え方か。
  
- 津波シミュレーションにおける複数の前提条件とは何か。津波シミュレーションの前提条件等については、事前に関係者間で調整する必要がある。
  
- 基本方針の中には被災後の復旧対策も含めて提示する予定か。
  
- 整備方針においてはハード整備が中心に議論されたが、ハード整備は港湾の機能を発揮させるための前提条件であり、最終目的ではない。どのようなハード整備が行われていれば港湾の機能が発揮されるのかという点を見据えて議論する必要がある。